

Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. MNA958

取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車輛に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種: NA8C ユーノスロードスター BP

- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、または当該経験者の監督下で作業可能な方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ株発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させてください。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

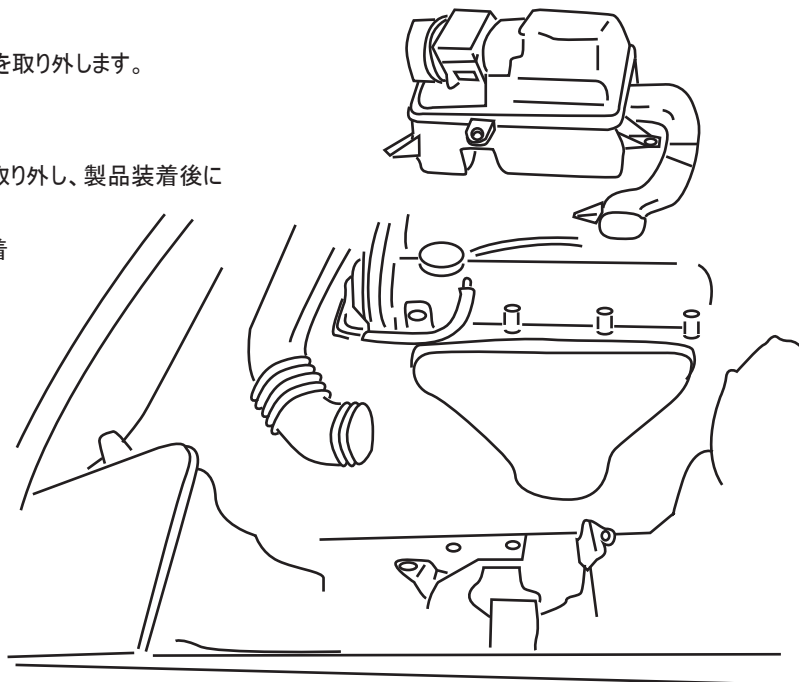
ノーマルクリーナーの取り外し

- 1: エアフロメーターのカプラーを外し、ノーマルクリーナーをクリーナーケースごと取り外します。(エアフロメーターも一緒に取り外します)

- 2: クリーナーケースからエアフロメーターを取り外します。

※ストラットタワーバー装着車は一度取り外し、製品装着後に再度取付けて下さい。
(一部メーカーによりタワーバーが装着出来ないものがあります)

※サクシオンパイプは必ずノーマルを使用してください。



PARTS LIST

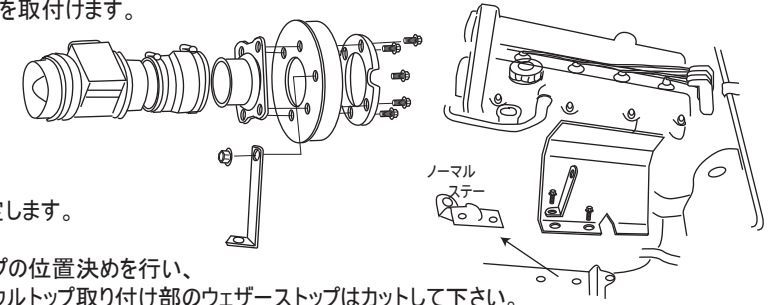


ラムエアインテークシステムの取り付け

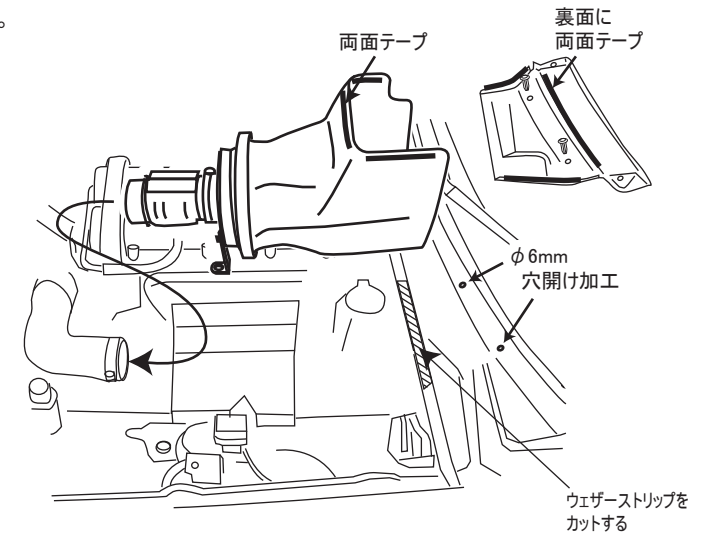
注)各作業は仮止めで行い、位置が決まってから増締めを行った方が容易です。

車両の個体差やエアコンホース及びワイパーモーターのレイアウトの違いによりダクトケースを削り加工が必要な場合があります。削り加工は棒ヤスリ等で行ってください。

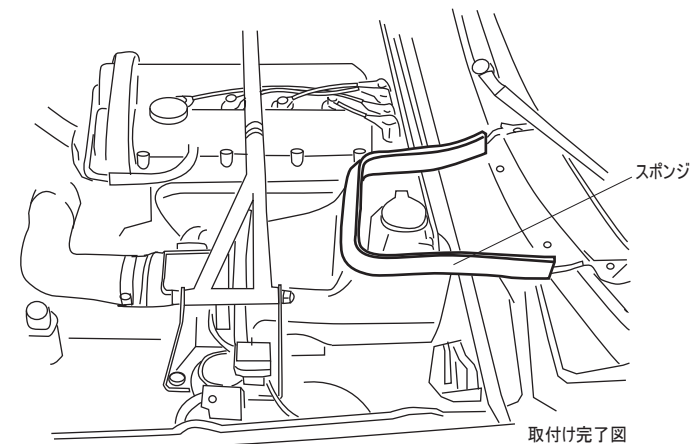
- 1: ノーマルステアを外し、付属のヒートプレートを取付けます。
- 2: エアフロメーターにアダプターとファンネル、ステアを組付けます。(右図参照)
- 3: アダプターにクリーナーASSYを取付けインテークパイプに取付け、ステアで仮固定します。
- 4: ダクトケースの導入口に合わせ、カウルトップの位置決めを行い、固定用の穴を2箇所ドリルで開けます。カウルトップ取り付け部のウェザーストップはカットして下さい。ダクトケース、カウルトップの仮止めを行いボンネットをゆっくり降ろし、ボンネットと干渉しないか確認をします。干渉する箇所がある場合、ヤスリ等で削り調整します。



- 5: 各部、増締めを行い本固定します。カウルトップは付属クリップと裏面に両面テープを貼り、取付けます。
- 6: 付属両面テープを使用し、ダクトケース及びカウルトップのボンネットとの隙間にスポンジを下図の様に貼り付けます。
- 7: ボンネットをゆっくり閉め、導入ダクトを付属クリップで取付けます。



※導入ダクト装着時は絶対にボンネットは開けないで下さい。開ける場合は必ず導入ダクトを外してから開けて下さい。
※走行時に干渉音が出る場合は付属のクッションテープを貼り付けて下さい。



取付け完了図

